



奈良東ロータリークラブ 会報

Nara East Rotary Weekly Bulletin



2016-17 RI テーマ

通算 1215 回(本年度第 2 回)
7 月 13 日 本日のプログラム

年間計画発表(2)

本日のソング: 千年古都

“夢を語り、^{いま}現在を刷新”
Review from the future and Renew

2016-17 地区スローガン

会 長	中 村 栄 一	創 立	1990 年 9 月 12 日	事務局	〒630-8115
副 会 長	梶 本 真 也	例 会 日	毎週水曜日 18:00~		奈良市大宮町 2-1-1-205
幹 事	谷 口 宗 彦	例 会 場	ホテル日航奈良		TEL 0742-30-5511
会場監督	喜 多 永 治		TEL 0742-35-8831		FAX 0742-30-5512

出席報告

6 月 22 日 第 1212 回修正

会員数	40 人
出席免除者数	18 人
出席義務者数	34 人
欠席者数	14 人
出席者数	26 人
補填者数	3 人
修正出席者数	29 人
出席率	85.29%

ニコニコ報告

中村栄一会長 奈良東 RC、26 代会長を務めます。皆様のご協力よろしくお願いします。

倉本堯慧君 いよいよ中村丸のスタートです。私も明日は奈良クラブのクラブ協議会です。

海保勝雄君 夏の暑さ並々です。暑さに負けない気力が必要です。頑張ってください。

北山勘解由君、梶本真也君、谷口宗彦君、川口勝久君、前田隆一君、喜多永治君、西田正秀君、清水毅君、上田洋一君、野崎充亮君、服部彰夫君、黒田有紀君、稲田尚紀君、横田保典君、伊東月臣君、浦島睦君、影山大君、清水弘志君、泉谷良宏君、八尾俊宏君、中東弘京君、小鍛冶英一君、前田武君

中村会長をはじめ皆様、新しい年度よろしくお願いいたします。

木平正君 生まれて初めて元林院のお茶屋さんへ行きました。昔の風情が残っていてヨカッタです。

幹事報告

• 会費納入のお願い

今年度前期分会費等納入期限が7月8日(金)です。
期限までに納入いただきますよう宜しくお願いします。

• 委員会表

最新の委員会表を状差しに入れてあります。ご自身の担当をご確認ください。

• 理事会議事録

2016年規定審議会にて、理事会議事録を60日以内に全会員に開示することに決まりました。
状差しに入れる方法で皆様に議事録を開示します。

• 8月10日の例会は、卓話時間60分、終了が午後7時30分の予定です。



例会報告

【年間計画発表(1)】

●会長 中村栄一君



RI 会長のテーマ、

人類に奉仕するロータリー

大変シンプルな言葉ではありますが、そもそも奉仕はロータリーの設立当初からの目的であり、ロータリー運動の本質を表しております。

そして、ロータリーにおける奉仕の意義は、ポール・ハリスが語った以下の言葉に集約されていると会長は続けます。

「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」

このようなハリスのロータリーに対する奉仕の期待を継承し、このような奉仕を行っていく責務がわれわれにはあるということで、次年度のテーマが決められました。

次に刀根ガバナーの所信ですが、近年ロータリーは少しずつ変化の兆しが見え始めてきました。

アメリカをはじめ、日本、カナダなどで会員数が減少し始め、またその活動も次第に人道的なボランティア活動が強調されるようになってきました。さらにその変化に時を合わせるように、会員資格、職業分類制度、例会の意義と言った初期の基本にまでも大きく変化してきました。

元来ロータリーの奉仕理念は、高度な宗教や哲学から出発したものではなく、人間が本来うまれながらに心の奥に持っている目に見えない精神、他人に役立ちたいという心を発掘し、育てていくことなのです。これがロータリーの生命力、原点です。

このロータリーの根本理念は変わることがないと思います、また変えてはいけないものと信じます。

この様な原点に立って、あるべきロータリーの姿を見つめ直し、今を刷新する必要があるのではないのでしょうか。

また(自分がどうありたいのか。どうありうるのか)という未来の可能性が見えて初めて、過去に蓄積された知識やノウハウは意味を持つようになり、再構築されます。組織としては現在の延長線上において未来を考えるのではなく、将来あるべき姿を思い描き、それを実現してゆく全ての行動を指しているものであります。

私たちはもう一度ロータリーのあるべき姿を思い描き、夢を語り、未来を見つめ、高い理想をそこに求め、そこから今を創造する、刷新することが求められています。

テーマ「夢を語り、今を刷新」

です。かなり私なりに要約しましたので解りにくいかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

さて、北山直前会長も昨年触れられましたが、佐藤千尋 PDG はこれからのロータリーを占って三つの道を挙げられました。第一は古典的な理想論、つまり昔ながらの古き良き時代に戻ることに。

これは先生と呼ばれる方、地域の有力企業、老舗の商店主、などの奉仕をする会員が集まるのがロータリークラブで、毎週の例会、一業種一人の代表 出席に対して厳しい、こう言うことがステイタスであったと思います、戻ることはありません。

第二の道は、二週間に一度の例会、他の奉仕団体などとの相互乗り入れや合併。

ライオンズクラブを指しているかもしれません。

第三の道は、各地域が自由裁量権を持つ連邦組織としての RI、世界には120万人、35000のクラブがありますが人頭分担金を払わず取り消しを受けるクラブが年間200に上ります、一番がインドで年間 100 クラブ次に韓国 25、アメリカが 23 です。驚きです

国際ロータリーとしては、一つですが、先進国、新興国、開発途上国、格差があります、大きな目的は一つですが、各地域が自由裁量権を持つことは不思議ではありません。

さて、この三つの道の中から一つを選択するのか、全く新しい道を進むのかと投げかけられておりましたが、私は、1, 2, 3、の順番に代わっていきような気がします。

すでに、今年度第二の道に踏み込んだ様な決定がなされました。3年に1度の規定審議会におきまして大きな変更がありました。

主立ったものを紹介しておきます、
16-1 クラブ理事会の議事録を60日以内に会員に開示する

16-6 標準 RC 定款にロータリークラブの目的を新設する

ちなみに、ロータリーの三原則は、ロータリーの目的。4つのテスト。行動規範です

16-7 クラブ入会金を廃止。ただし(クラブが自由に設定できる)とあります。

16-21クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブ細則で定める

ただし、最低1か月に2回は開催しなければならない。

16-30従来型のクラブでもインターネット例会可能、同時にEクラブも顔を会わす例会も可能。

要はEクラブも従来のクラブも一緒と言うことです。16-38会員身分の条件を簡素化。善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受けた奉仕の意欲のある人とする、その従来条件はすべて削除

衝撃的な内容もあります、ただ手続要覧は今年の年末、もしくは来年になり、その後クラブの定款作成になりますので、実際の運営は次年度になると思いますが、例会規定、等は情報集会にて皆様のご意見をいただきたいと考えております。

さてマラソンの件ですが、矢野元会長が始められて4年、沢山の参加をいただいたと同時に初期の目的でもあるクラブの活性化は十二分に達成されたと思っております。改めて歴代会長、社会奉仕委員長のご尽力には敬意を表したいと思っております。

そうした中で、伊東委員長にはあらゆる角度から可能性を探っていただき、また荻田先生には市に対してご尽力をいただきましたが、継続事業は3年めど。

情報集会における皆様のご意見、理事予備会議、委員長会議、の了解のもと北山年度にて終了の結論といたしました。

私の会社の近くに刑務所がありますが、入所者の4人に一人は知的障害者と言われております

また路上生活者の半分もそうであります、経済の道徳論で正義の徳が(機会の平等)を求めるならば、善行の徳は結果の平等です。中立的な第三者である(公平な観察者)が競争で不利益を被った人、ハンデのある人に共感苦難を軽減しようとするとき、善行の出番です。あのビルゲイツもポリオも多額の寄付をされていますが、多くの人は善行する資産もなく見て見ぬふりになります。

私たちは、奉仕をする者の集まりとしてロータリーに参加し、奉仕をする機会に恵まれております。

今年度は、服部プロジェクト委員長、伊東社会奉仕委員長の元、出来るならば、社会的弱者といわれ

る皆さんの少しでもお役に立てる事業を考えていただきたいと思っております。

さて奈良東ロータリークラブは、職業倫理を重視し四つのテストの実践を心がける、そしてクラブで決めた奉仕事業を推進すると同時に親睦が第一のクラブです。

私自身もそうですが会員の多くも居心地の良いクラブと考えておられると思います。しかしながらクラブも25年を過ぎると現実には、会員の高齢化、出席免除者の増加、会員の減少、事業の停滞、活力の低下、運営資金の欠如等、色々な問題が明らかに、しかしながら目に見えることなく少しずつ進んでおります。クラブで長年行ってきたことが良い悪いを別にしてクラブの常識になる、今まで道理で良いと考えてしまうと発展はありません、まずはクラブの事業、親睦活動を今すぐ改めることが出来なくても、疑問を持って考える、そこから新しい奉仕事業、親睦活動を生み出したいと思っております。

その為の手掛かりは、委員会にあると思います、事業は委員長1人でも簡単に出来てしまうかもしれませんが委員会の開催によって、アイデア、意見を頂く事が大事です、そして既に多くの委員会の開催をいただいております、また私からこうしてくださいはありませんので、委員会で考え理事会に上げて、実行を宜しくお願い致します。

最後に私たちのクラブがどの様に在るべきかを真剣に考えなければならない時期に来ています、自分たちのクラブは自分自身で変革し、発展させる努力が必要だと思います。

●副会長 梶本真也君



手続要覧によると、会長不在の場合は本クラブの会合及び理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。とあります。

中村会長の想いを、スムーズにまたメンバー一丸となり実現するために尽力する所存でございます。会長、幹事との連絡を密にし、その職責を果たすことが

できますよう、全力を尽くして頑張る所存でございます。

前任者同様、皆様方のより一層のご支援とご協力の程お願い申し上げます。

次週には、クラブ管理常任委員長の年間計画発表を予定していますのでよろしくお願いいたします。

●幹事 谷口宗彦君



本年度、中村会長の下、幹事を仰せつかりました谷口宗彦です。

私は、入会直後から中村会長の誠実で真面目なお人柄に惹かれ、「もし幹事を務めるなら、中村さんが会長の時だと嬉しいな」とずっと思っていました。ですので、昨年11月に中村会長から幹事を依頼された時には、「入会歴の浅い私で務まるのだろうか」という思いが一瞬頭をよぎりましたが、「はい」と即答したことを記憶しています。当初は次々年度(2017-2018年度)の幹事を引き受けたのですが、諸事情により、今年2月末、中村さんとコンビで会長・幹事ともに1年繰り上がることとなり、中村会長、梶本副会長と急いで今年度の組織作り等を行いました。

歴代幹事を見ていて、幹事の大変さを理解していたつもりですが、いざ自分が幹事エレクトとなると、想像以上に様々なことを担い、「大変な役職を引き受けてしまったな」と痛感しています。理事を1度しか経験せず、ロータリーに対する理解が不十分なまま幹事を引き受けましたので、皆様は多々ご迷惑をおかけすると思いますし、既にご迷惑をおかけしていることと思います。精一杯、務めさせていただきますので、温かく見守り、また、サポートしてください。

幹事就任前から、諸先輩から色々なアドバイスを頂戴しました。私にとって非常にありがたいアドバイスばかりでした。そのアドバイスを胸に、中村会長、理事役員の皆さん、各委員長の皆様や諸先輩方の指示を仰ぎながら、先頭に立って中村会長の思いを実現し、この中村年度を盛り上げていく所存です。とはいえ、クラブ運営や事業は会員皆様のご指導ご協力がなければ成し得ませんので、何卒ご協力よろしくお願いいたします。

皆様お気づきでしょうが、今年度から例会の進行役が幹事に戻りました。例会の進行に関して皆様にお願ひがあります。例会時間の割り振り等のこともありますので、委員会報告がある場合には、例会が始まるまでに幹事にお伝えください。どうぞ宜しくお願いします。

そして、会員数が徐々に減少し、ついに40人を切ってしまい、危機感を抱いています。勧誘したい方がおられる場合には、すぐに中村会長、野崎会員増強委員長や私にお声がけください。

また、会員数が減少し始めたからこそ、クラブ内の結束を図り、会員相互間の親睦を深め、我が奈良東ロータリークラブを活性化させる必要があります。そのためにも、まずは例会にご出席ください。そして、委員会を活発に開いていただき、クラブを活性化するためのアイデアをいただければと思います。委員会で検討し、理事会に挙げ、各事業をクラブ全体で実行していきましょう。

不安しかありませんが、精一杯務めさせていただきますので、皆様のご指導よろしくお願いいたします。

●会計 横田保典君



本年度、会計を仰せつかりました、横田です。会計は12年前にしたことはあるのですが、ほとんど覚えておりません。何もわからない白紙の状態ですが、諸先輩の教えを受けて、一年間がんばっていきたいと思っています。

クラブ細則によりますと、会計の任務は、「すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行う」とあります。当然のことではありますが、適性に会計処理を行なっている所存です。今、始まったばかりではありますが、本心言えば、早く次年度の会計に引き継ぎたいという気持ちで一杯ですが、来年の6月末日に無事に決算ができますように、尽力したいと思っています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

●会場監督 喜多永治君



会場監督の喜多で御座います。副委員長は川口君の構成で御座います。

ロータリーにおける SAA は、クラブ例会その他の会合において、気品と風紀を守り、会合がその目的を発揮できるよう設営し、監督する責任があります。つまり、例会場において最高の権限をもつクラブ役員のことです。

このように、例会場の管理権者であることから、会長経験者およびロータリアンとして経験が深い会員の中から任命されることが望ましいとされています。その中で私が任命されたことは非常に光栄であるとともに不安も御座います。

基本会場監督の役目として

- ◎ 例会場の入場、退場許可
- ◎ 早退、遅刻の承認や拒否
- ◎ 私語に対する警告
- ◎ 卓話の時間励行
- ◎ その他、例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令
- ◎ 例会場の設営
- ◎ 親睦活動委員会と協力してゲスト、ビジターを温かく迎える
- ◎ また自主的に禁煙とし、携帯電話の使用も自粛する
- ◎ 食事の献立、の手配

食事は出来るだけ人数分を用意したいと思います。

例会欠席予定が有る時は必ず事務局への報告お願い致します。少しでもいらない食事を減らし節約へと結び付けたいと思います。

最後に、例会は秩序、品格をもって、例会の目的の一つは親睦、交流でもう一つは奉仕の理想に向かったの自己研(サン)鑽の場であると聞きます、しかし、これでは堅苦しいので個人的には皆で集まる、楽しい雰囲気がないと長続きしないと思います。

例会の中で重要なのは会長の挨拶と卓話です、会長挨拶はロータリアンのためになる話、また個人の勉強となる楽しい卓話の話を聞く為の会場作りを行います。皆様宜しくお願い致します。

*****例会風景*****



7 月お誕生日の皆様、おめでとうございます！

清水 弘志君 昭和 8 年 7 月 22 日生
 泉谷 良宏君 昭和 22 年 7 月 15 日生
 横田 保典君 昭和 32 年 7 月 28 日生
 岩本 金悟君 昭和 35 年 7 月 18 日生
 谷口 宗彦君 昭和 51 年 7 月 29 日生

●奈良新聞社を表敬訪問しました。



●第1回理事会が開催されました。



●奈良テレビを表敬訪問しました。



代表取締役社長 辻本俊秀様(中央)
報道制作局長 小森良二様(右奥)と共に